

コシヒカリで2日程度早い予想  
適期穂肥で高品質・良食味米生産！



※気象情報(新潟地方气象台 7月 11日発表)

【7月13日から8月12日までの天候見通し】

期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

1. 特栽米コシヒカリ生育調査結果(7月10日現在)

田植日(5か所平均): 5月9日

項目	本年値	前年比	指標値比・差	※調査について
草丈(cm)	62.2	92.5%	97.2%	【草丈等数値】 北越後管内定点調査ほ5か所平均値 【指標比・差】 5月10日以降の適期移植の理想生育との比較
茎数(本/株)	28.5	121.1%	100.4%	
葉数	10.0	-0.5葉	-0.9葉	
SPAD	35.3	93.5%	96.6%	

2. 出穂予想(7月10日:新発田市農業普及指導センター)

「5月10日頃田植え」

品種名	幼穂形成期	出穂期	穂肥窒素量 合計 (kg/10a)	穂肥時期		湛水管理 開始時期
				1回目	2回目	
ゆきん子舞	6月30日	7月25日	5~6	6/30~7/2 (-25~-23)	7/8 (-14)	6/30 ~
つきあかり	7月3日	7月26日	5~6	7/1~7/3 (-25~-23)	7/12 (-14)	7/1 ~
あきだわら	7月23日	8月15日	5~6	7/21~7/23 (-25~-23)	8/1 (-14)	7/21 ~
こしいぶき	7月4日	7月27日	2~3	7/4 (-23)	7/13 (-14)	7/2 ~
コシヒカリ	7月13日	8月5日	1~3	7/18~7/21 (-18~-15)	7/26 (-10)	7/11 ~
わたぼうし	7月2日	7月25日	2~3	7/2~7/5 (-23~-20)	7/13~7/15 (-12~-10)	6/30 ~
こがねもち	7月10日	8月2日	1~3	7/15~7/18 (-18~-15)	7/23 (-10)	7/8 ~
五百万石	6月30日	7月23日	1~2	7/3 (-20)	7/11 (-12)	6/28 ~

※連休田植えの出穂予想は上記表より2日早い予想となっております。

※出穂予想は今後の気温により変動しますので、ほ場ごとの幼穂の状況を確認しましょう。

※ゆきの精の出穂時期はゆきん子舞よりやや遅めです。

### 3. おすすめ穂肥一覧

品名	容量	成分(%)				おすすめポイント	持ち帰り価格 (税込)
		N	P	K	その他		
北越後穂肥専用	20kg	12	5	8	苦土3	速効性チッソ、カリのほかリン酸、苦土もバランスよく含む肥料です。	2,460円
北越後有機穂肥	20kg	12 (化5.9)	2	8		特栽米、減減栽培に使用可能、有機由来窒素が6.1%	3,370円
硫化燐安(穂肥)32号	20kg	14	4	14		化成なので効きが早く、窒素1キロ当たりの費用も安い。	2,210円
α有機246ネオ	20kg	12 (化8.5)	4	6	苦土3	化学由来窒素と有機由来窒素が混合。両方の良さを発揮します。	2,950円
味好2号	20kg	7	2	7		有機100%肥料。地力増進効果も特栽や減減におすすめです。	3,010円
おてがるくん	20kg	12	5	7		流し込み肥料。大区画圃場などの施肥作業が軽減できます。	2,920円
おてがるくんNK	20kg	15	0	6		流し込み肥料。リン酸が含まれないタイプのおてがるくん。	2,780円
ポタポタ液肥2号	23.4kg	6	1.2	3.2		有機100%水口流し込み肥料、特栽・減減栽培にも使用可。	5,550円

#### 【基肥一発肥料における穂肥対応】

基肥一発肥料は基本穂肥施用の必要はありませんが、場合によっては多少の穂肥を必要とする場合があります。

- ①元々後期栄養が持続しない低地力ほ場、又は極端に葉色がさめている。
- ②基肥一発肥料の施用量が少なかった。

☞上記のような場合、後期栄養を重視し穂肥施用を検討しましょう。

### 4. 出穂期の水管理

**出穂期前後(幼穂形成期から登熟期)は稲にとって最も水を必要とする期間です。**  
 但し湛水管理期間中、高温が続く場合は水温上昇による「根腐れ」が心配されます。  
 可能な限り水交換を行い根の健全化に努めましょう。

### 5. 病害虫発生情報(7月1日:新潟県病害虫防除所)

#### ①葉いもち 「下越でコシヒカリBLの葉いもちの発生が確認されました。」

- ・6月下旬から感染好適条件が断続的に出現しています。また向こう1か月の降水量は多く、日照時間は少ないと予想されていることからいもち病感染の可能性があります。
- ・いもち病に弱い品種は確実に防除しましょう。
- ・発病が確認されたら、一斉防除期間前でも直ちに防除を実施しましょう。

いもち病病斑



#### ②紋枯れ病 量: やや多い。時期: 並

- ・前年発生量が平年比やや多く、越冬菌核量は平年比やや多いと推定されます。

#### ③斑点米カメムシ類 量: 並。時期: 並

- ・県平均では並ですが下越地域6月下旬の畦畔すくい取り調査では、アカヒゲホソミドリカスミカメで「平年比やや高い」、アカスジカスミカメで「平年比やや高い~高い」。

**地域一斉防除計画に基づき防除を徹底しましょう。**

出穂期以降の草刈りは雑草地のカメムシを本田に追い込むこととなりますので

**農道・畦畔の草刈りは7月一杯で終了しましょう!**